

4月13日(金)夜「カンボジア政治状況講演会」お知らせ

「カンボジア政治状況講演会」

■日時:2018年4月13日(金)(17:30:開場) 18:00~19:30

■場所:参院議員会館 B1 B104 会議室

■アクセス:<http://www.sangiin.go.jp/japanese/taiken/shuhen/shuhen.html>

永田町駅(地下鉄 有楽町線・半蔵門線・南北線)

国会議事堂前駅(地下鉄 丸ノ内線・千代田線)

■講演者:サム・レンシー氏(カンボジア救国党前代表。もと財務大臣)ほか。

■言語:英語(全体の通訳はありません) 日本語のみの方は、コメント欄にその旨お書き下さい。少人数であれば、ウispアリング【小声での簡単な通訳】・コーナーを設けます。

■主催:「カンボジア政治状況講演会」実行委員会

■要事前申込制:<https://ws.formzu.net/fgen/S91434189/> (締切り4月12日17時)

※通行証の関係で、事前申し込みがない方は入場出来ません。

■定員:64名

申し込み用QRコード⇒



急速に独裁化が進む、カンボジアの政治・人権状況に関して、日本でも多くの人々が憂慮しています。今回、昨年11月強制的に「解党」させられた、野党「カンボジア救国党」前代表のサム・レンシー氏、ムー・ソクア副代表などが、日本の国会議員などとの意見交換のために来日するという情報を得ました。来日時間の一部をお借りして、市民／NGO対象の講演会を開催いたします。質疑の時間もあります。

UNTAC総選挙(1993年5月)から25年、2018年7月29日に予定されている「第六回総選挙」。独裁状況の下、有権者の多くは投票の選択肢を失いました。1993年以来基本的に守られてきた「自由で公正な総選挙」というパリ和平協定の精神が無視されようとする中で、カンボジア政治の当事者の方々から意見や情報を得られる貴重な機会です。過去30年、カンボジアの和平・復興に深く関わってきた日本の外交政策、国際開発協力(ODA)の問題でもあります。多くの方にご参加頂ければと思います。

■ 式次第(当日の進行状況により多少変動します)

17:30:開場 参院議員会館入り口で、館内通行証=パスをお渡しします。(18:00まで)

18:00:開会、サム・レンシー氏(カンボジア救国党前代表)講演『カンボジアの政治状況と今後』。
随行のムー・ソクア副代表などご発言

19:00:参加者との質疑応答

19:30:閉会